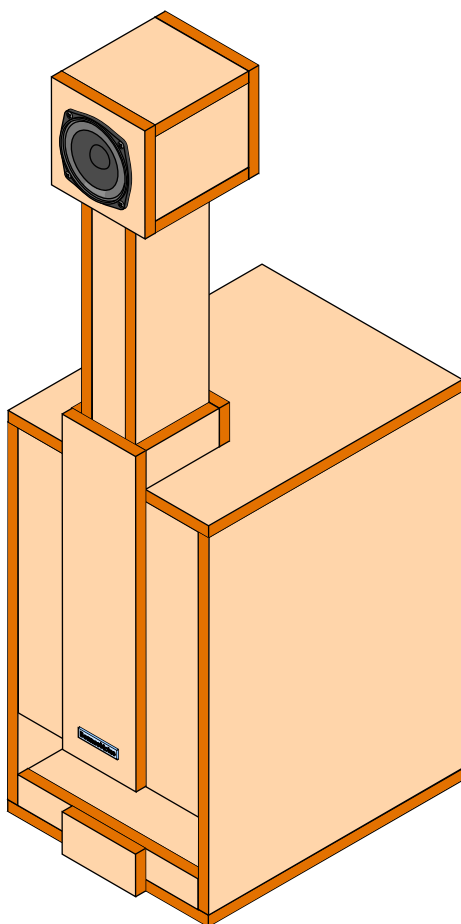


鳥形バックロードホーンキット 炭山アキラモデル「チュウサギ」(1本)

完成図



☆共立電子産業オリジナル パイオニア製
10cmダブルボイスコイルユニット DVC-1000
専用エンクロージャ

☆場所をとらない鳥型(スワン型)バックロード
ホーンスピーカーの組み立てキットです

☆高精度カット済み15mm厚MDF材使用、
手軽に組み立てられます

☆寸法

幅 : 300mm

奥行 : 380mm ※補強板含まず

高さ : 1000mm

スピーカーユニット
DVC-1000
(6Ω+6Ω 20W) 付属



組み立てに必要な工具等
(別途用意してください)

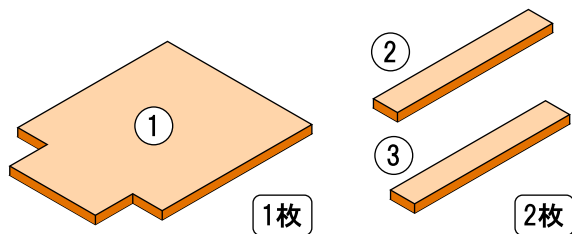
- ◎ 木工用ボンド
- ◎ 鉛筆と定規
- ◎ プラスドライバ
- ◎ スコヤ(直角を出すための定規)
- ◎ ハタガネ(60cmくらいのもの)または重し
- ◎ 濡れぞうきん
(はみ出したボンドをふき取るのに使用します。
よく絞ってから使用してください)

部品一覧(スピーカー1本分)

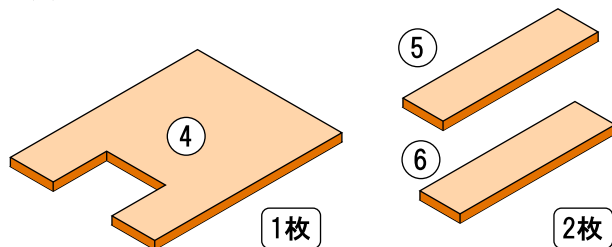
※板材は全て厚さ15mmのMDF材です。図の丸数字は部材にスタンプしてある部材番号です。

1. 胴体部分の部材

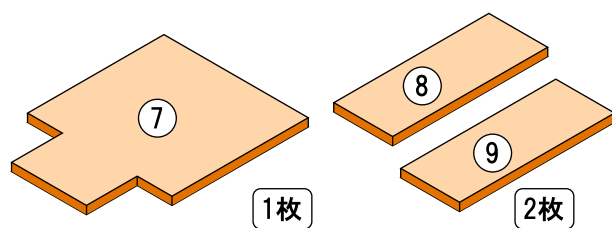
(1) 音道1段目用中板



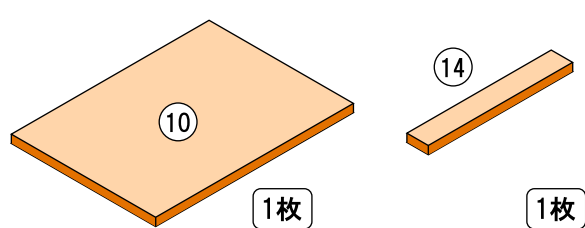
(2) 音道2段目用中板



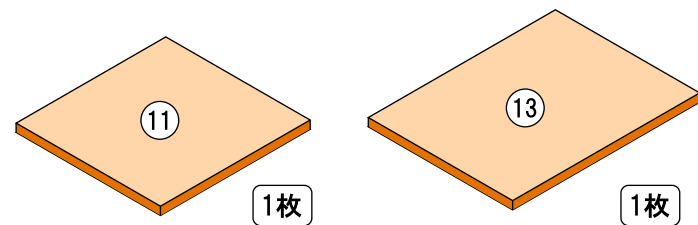
(3) 音道3段目用中板



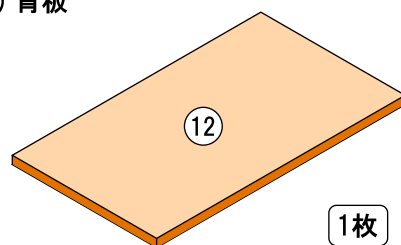
(4) 前板



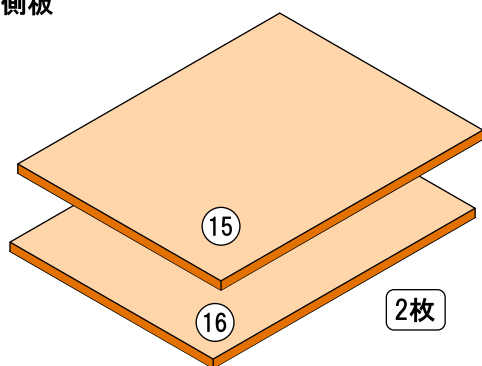
(5) 音道4/5段目用中板



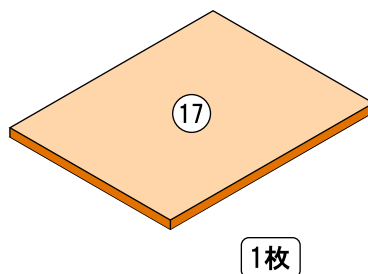
(6) 背板



(7) 側板

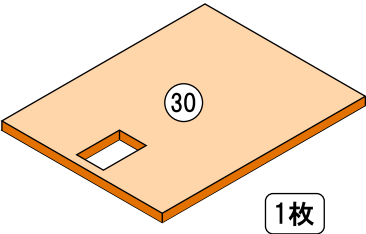


(8) 底板



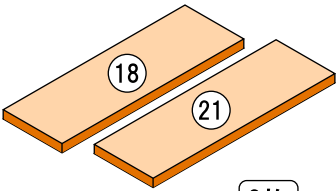
2. 首/頭部分の部材

(1) 天板

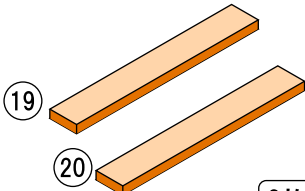


1枚

(2) 首の部材

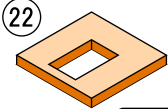


2枚

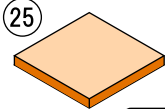


2枚

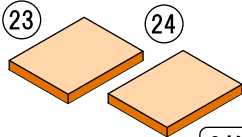
(3) 頭の部材



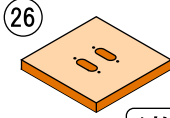
1枚



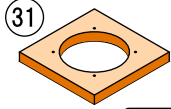
1枚



2枚

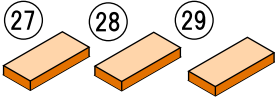


1枚

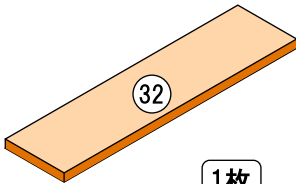


1枚

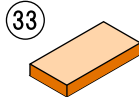
3. 補強材



3枚

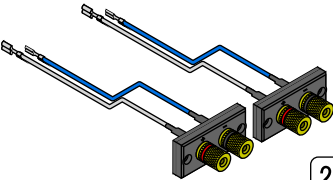


1枚



1枚

4. スピーカーターミナル/スピーカーユニット/銘板/砂袋



2個



4個



1個



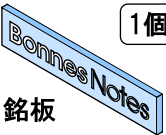
4個

スピーカーターミナル
(接続ケーブル加工済み)

3x16mm タッピングネジ
(スピーカーターミナル
固定用)

スピーカーユニット
(DVC-1000)

3x12mm タッピングネジ
(スピーカーユニット固定用)



1個

銘板



1袋

砂袋
(600g入り)

部品表 ※予告なく変更することがあります

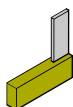
	品名	板の番号	数量		品名	板の番号	数量
1	音道1段目中板1	(1)	1	16	首部前板/後板	(19) (20)	2
2	音道1段目中板2	(2) (3)	2	17	頭部底板	(22)	1
3	音道2段目中板1	(4)	1	18	頭部天板	(25)	1
4	音道2段目中板2	(5) (6)	2	19	頭部側板	(23) (24)	2
5	音道3段目中板1	(7)	1	20	頭部背板	(26)	1
6	音道3段目中板2	(8) (9)	2	21	スピーカバッフル	(31)	1
7	前板1	(10)	1	22	首部補強板	(27) (28) (29)	3
8	前板2	(14)	1	23	胴体補強板1	(32)	1
9	音道4段目中板	(11)	1	24	胴体補強板2	(33)	1
10	音道5段目中板	(13)	1	25	スピーカーターミナル		2
11	背板	(12)	1	26	タッピングネジ 3x16mm		4
12	側板	(15) (16)	2	27	スピーカーユニット DVC-1000		1
13	底板	(17)	1	28	ユニット止めネジ 3x12mm		4
14	天板	(30)	1	29	銘板 (アクリル製)		1
15	首部側板	(18) (21)	2	30	砂袋 (珪砂 600g入り)		1

組み立て方

- ◎ 部材には部材の番号がスタンプしてあります。部材の番号を確認しながら組み立ててください。
組み立て図では部材の番号を丸数字で表しています。
- ◎ 図中ハッチング  が入っている部分は板を接着すべき場所の指定です。

重要

- ◎ 組み立て前に構造と全体の組み立て工程を把握し、仮組みを十分行って部材同士の位置関係を把握してから組み立ててください。
- ◎ 胴体内部の音道部分の組み立て(部材番号 ①～⑨)は精度が重要な箇所です。1段目から3段目を接着して1つのユニットにする部分では、各段が前後左右にずれたり歪んだりしないよう注意して組み立ててください。**(ここでずれると後の組み立て工程に支障が出ます)**
接着時はハタガネなどでしっかり固定し、接着剤を十分乾燥させてください。
- ◎ ほかの部分もスコヤなどで直角を出して組み立ててください。

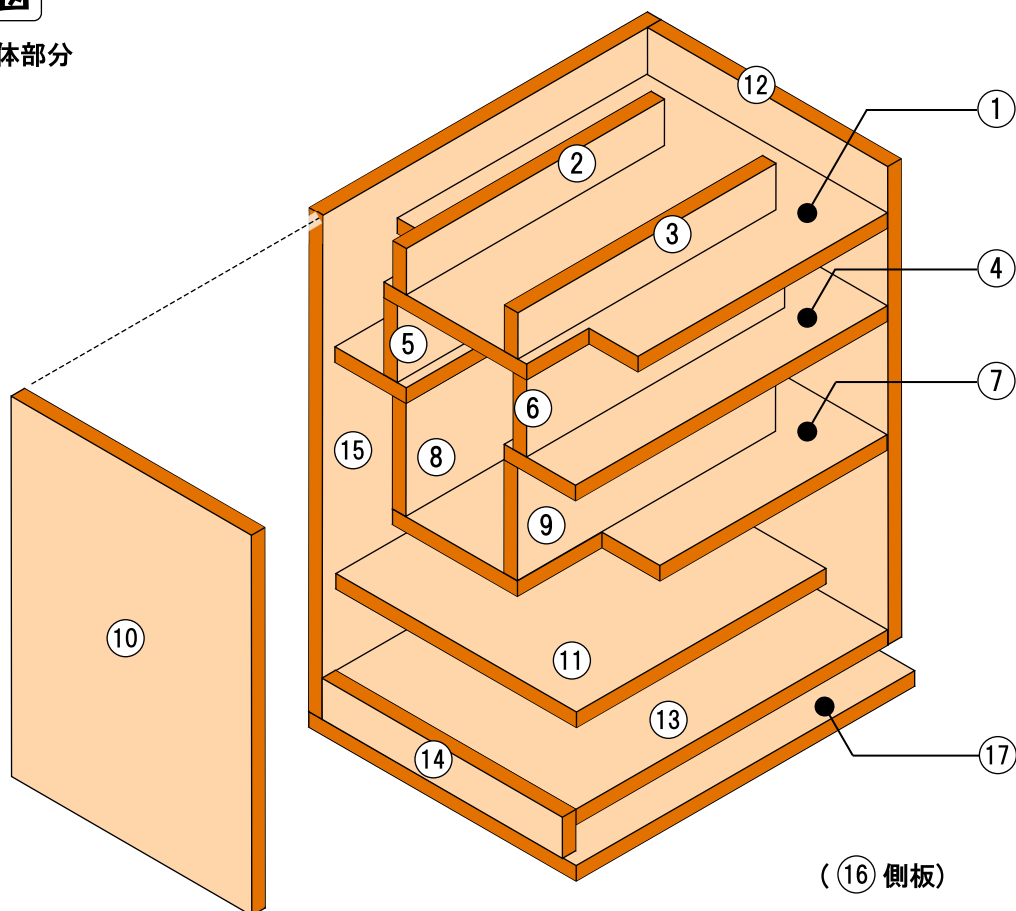


組み立て図に記入してある左の「ミニスコヤマーク」は、直角になっていることを確認すべき場所を意味しています。
(スコヤとは直角を確認するための定規です)

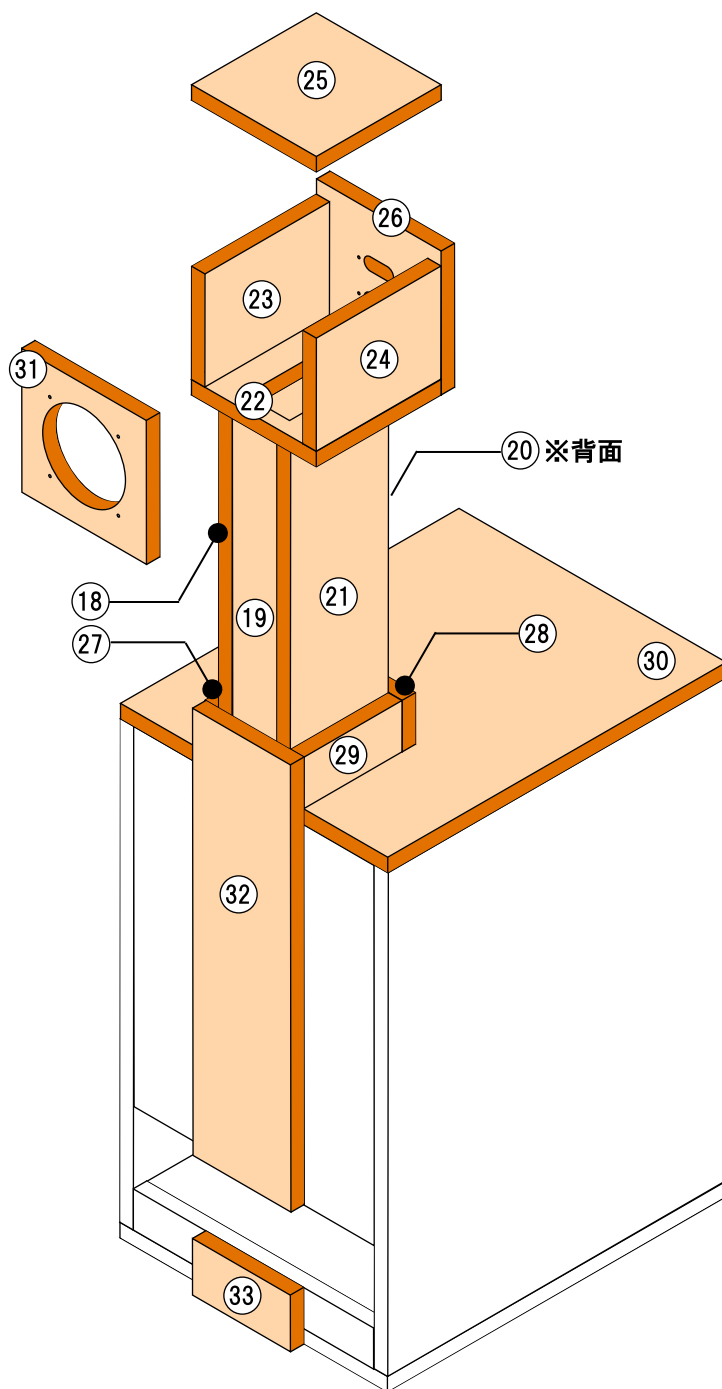
- ◎ 接着剤は接着面に均等に塗ってください。

構造図

(1) 胴体部分

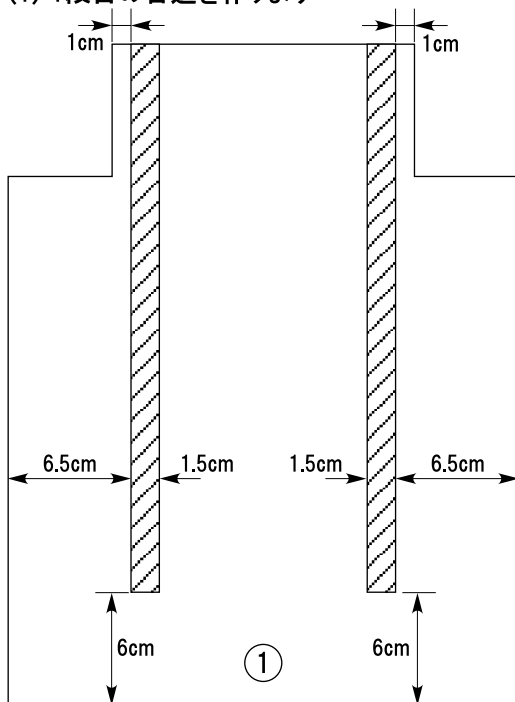


(2) 首と頭の部分（補強板を含む）



1.胴体部分の組み立て

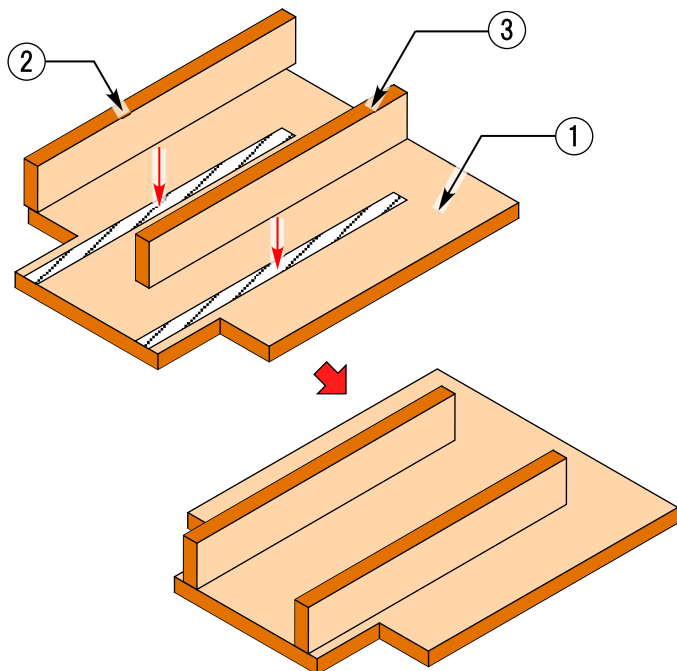
(1) 1段目の音道を作ります



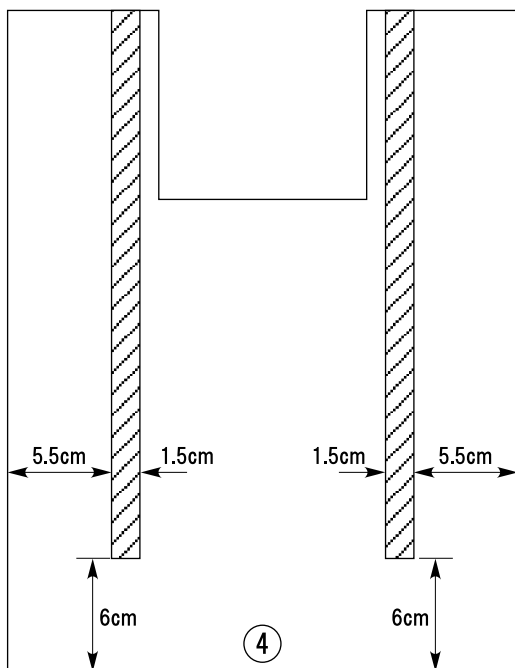
中板②と③には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

◎ 中板①に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

◎ 左図のハッチング▨部に下図のように中板②と③を接着します。



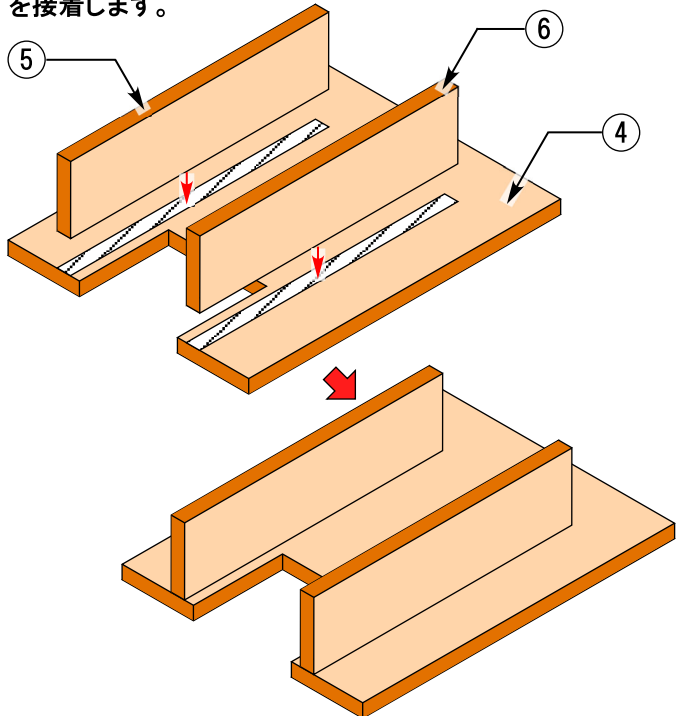
(2) 2段目の音道を作ります



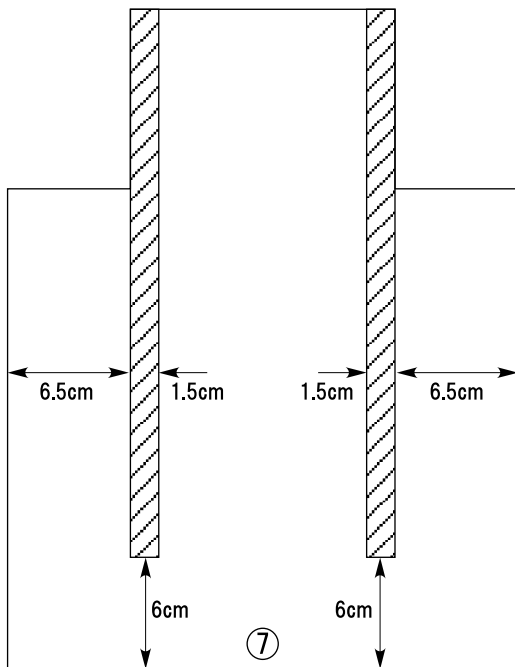
中板⑤と⑥には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

◎ 中板④に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

◎ 左図のハッチング▨部に下図のように中板⑤と⑥を接着します。



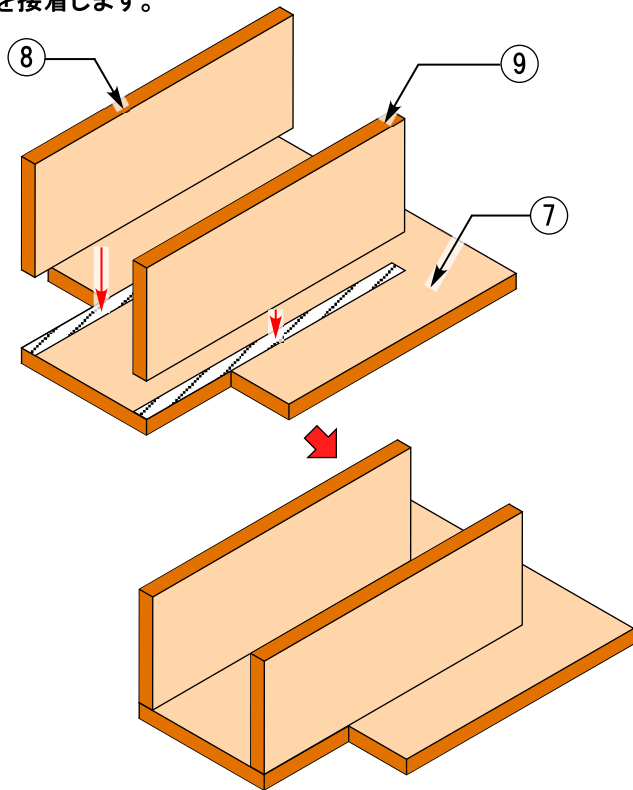
(3) 2段目の音道を作ります



中板⑧と⑨には左右の区別はありません。
(同じ部材です)

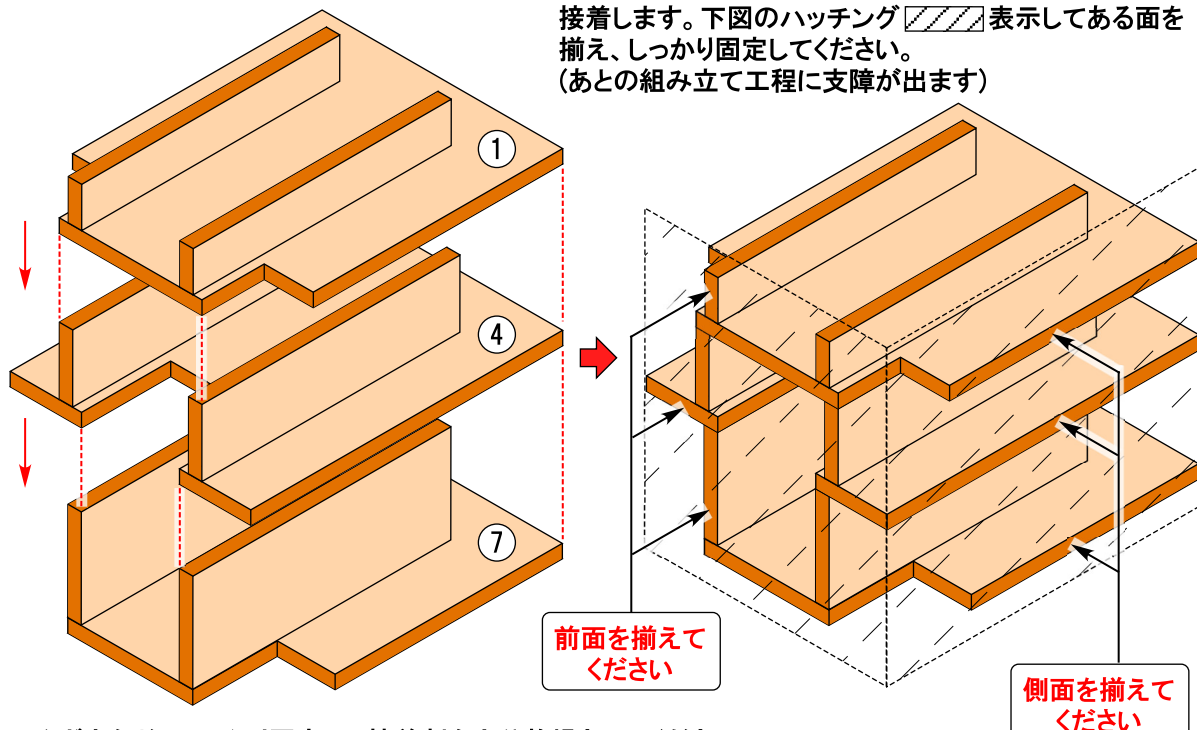
◎ 中板⑦に左図の寸法に従ってガイド線を引きます。

◎ 左図のハッチング部(斜線)に下図のように中板⑧と⑨を接着します。



(4) (1)～(3)で組み立てた音道を接合します

◎ (1)～(3)で組み立てた音道を下図のように重ね
接着します。下図のハッチング部(斜線)表示してある面を
揃え、しっかり固定してください。
(あとの組み立て工程に支障が出ます)

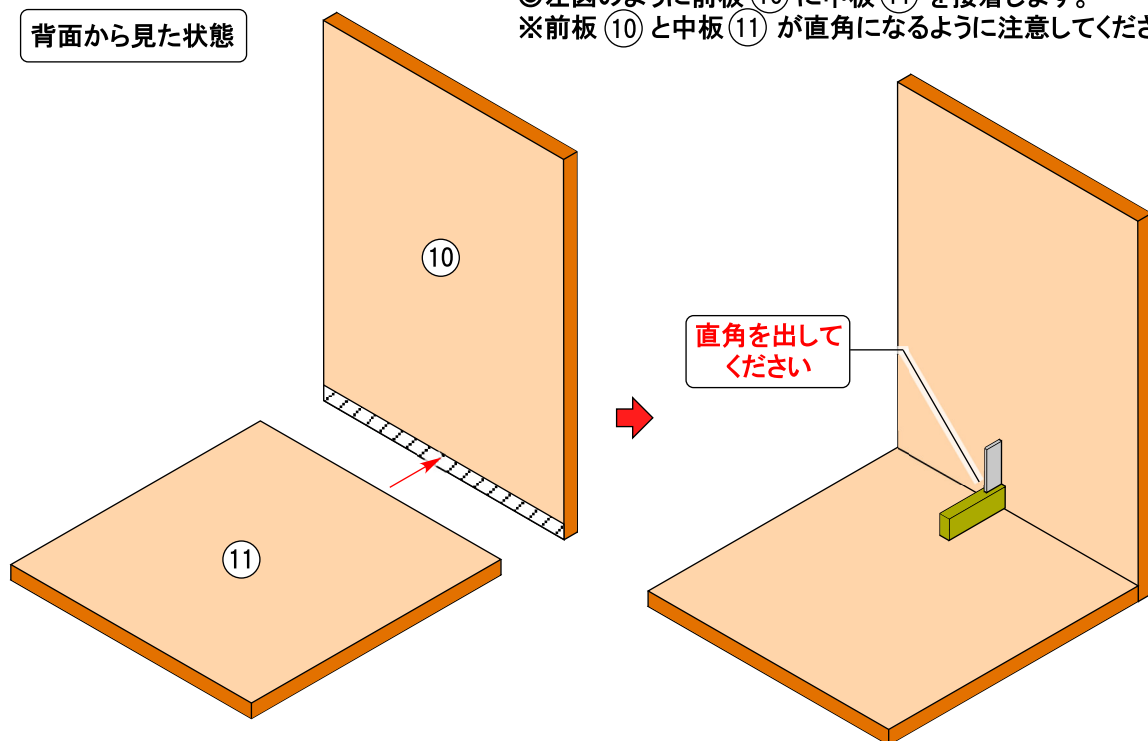


ハタガネなどでしっかり固定して接着剤を十分乾燥させてください。

(5) 4段目の音道を作ります

背面から見た状態

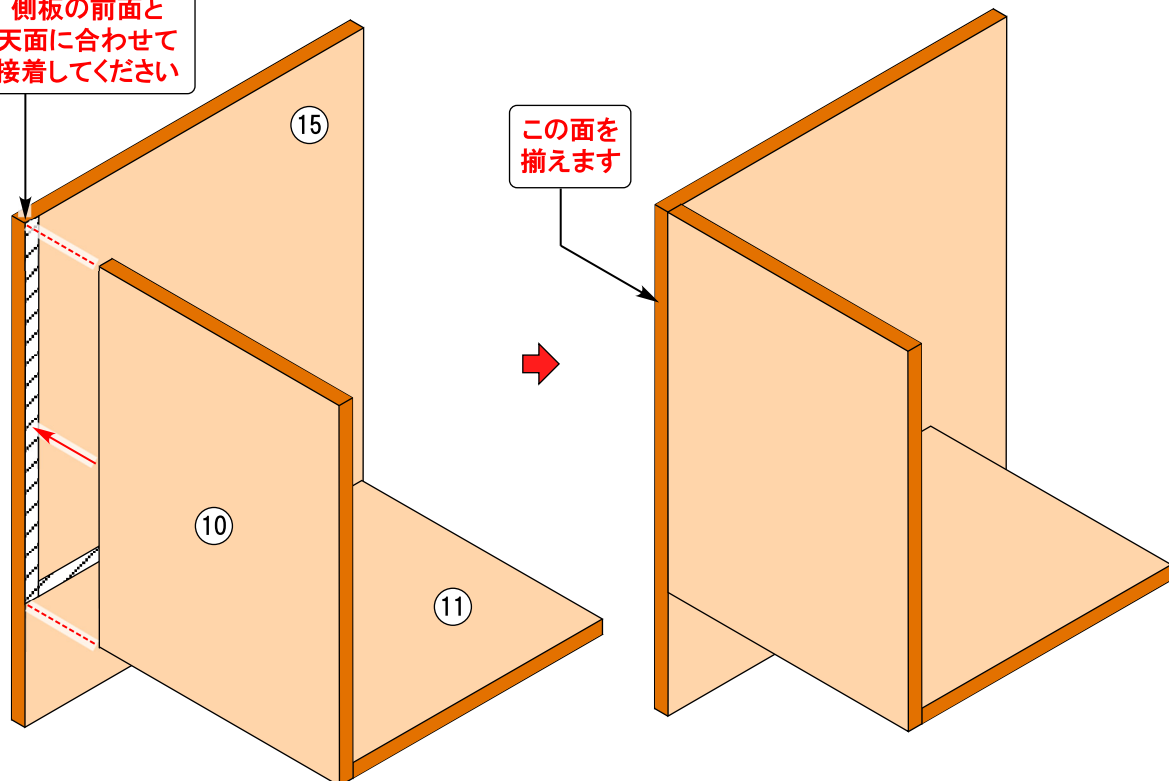
◎左図のように前板(10)に中板(11)を接着します。
※前板(10)と中板(11)が直角になるように注意してください。



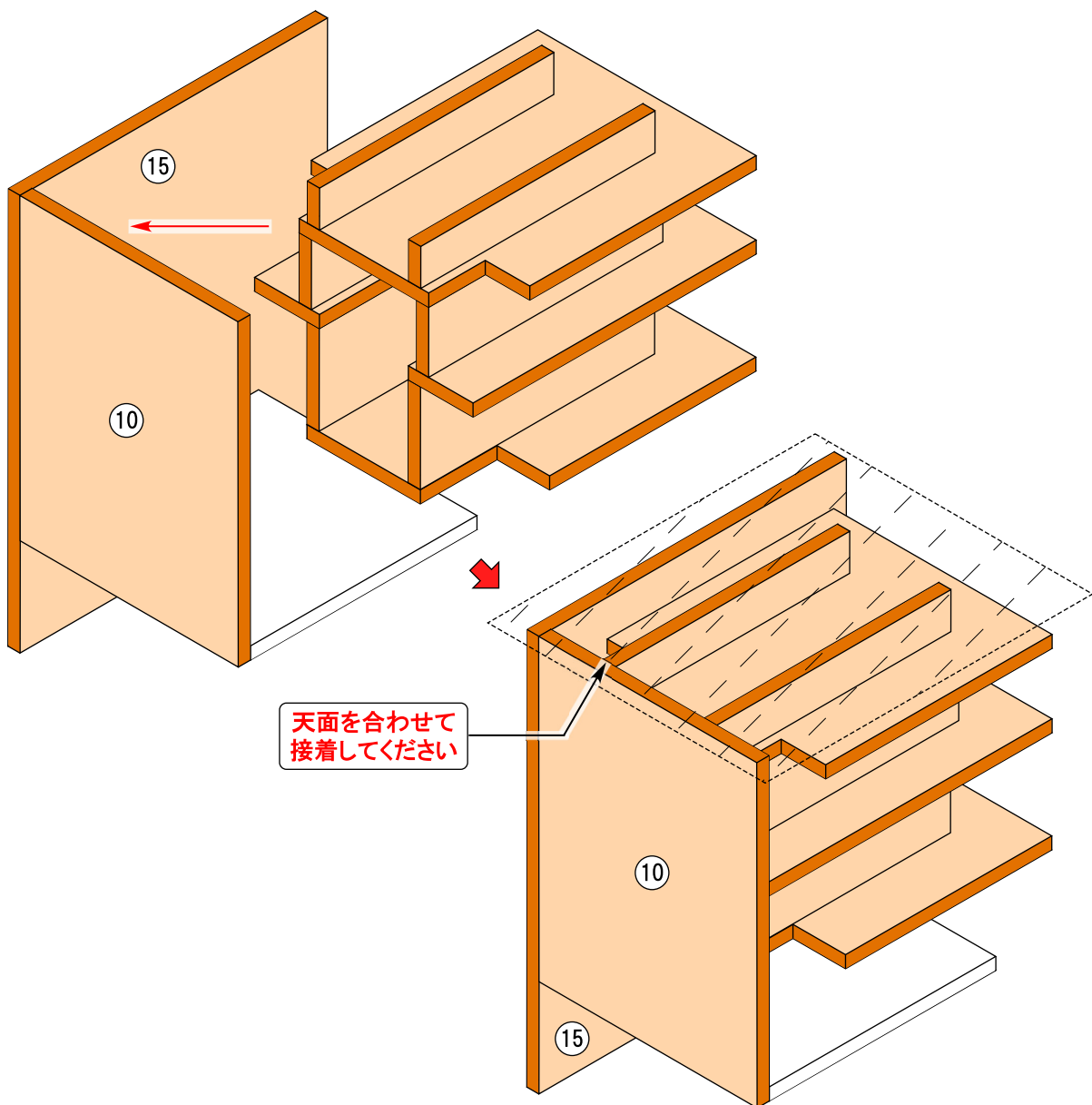
(6) 側板(15)に(5)で接着した前板(10)(11)を接着します

側板の前面と
天面に合わせて
接着してください

この面を
揃えます

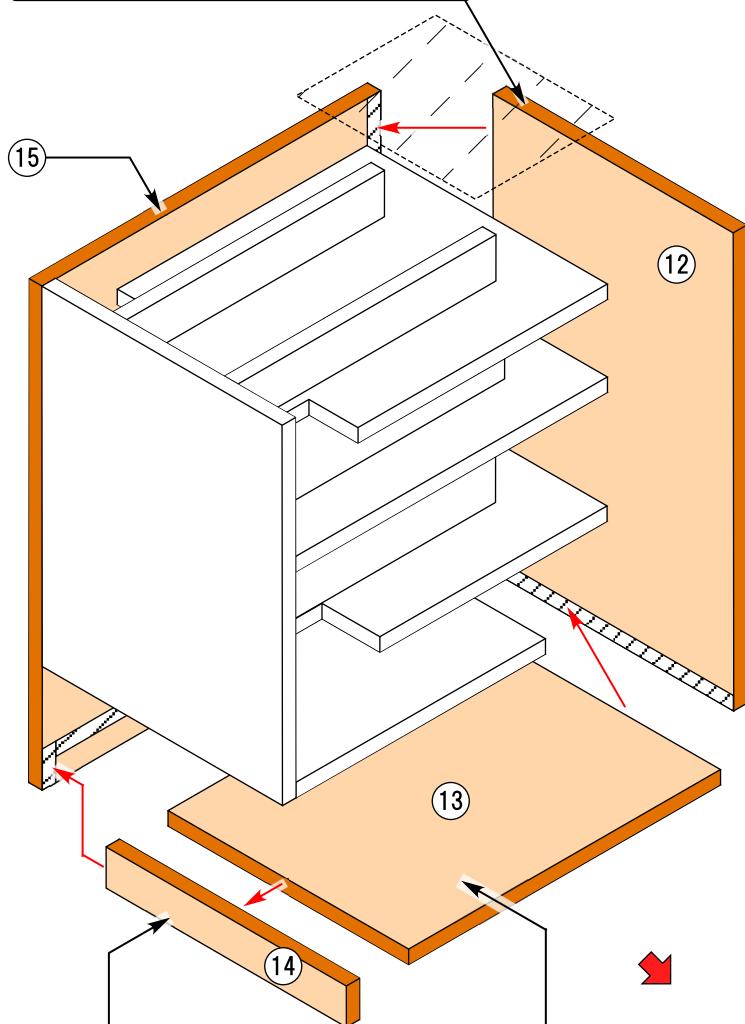


(7) 側板に(4)で組み立てた音道を接着します



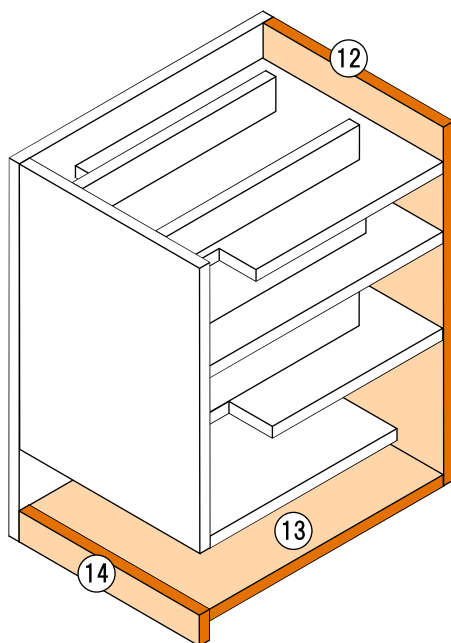
(8) 背板 ⑫、中板 ⑬、前板 ⑭ を接着します

(1) 背板 ⑫ を側板 ⑮、(4)の音道に
天面を合わせて接着します

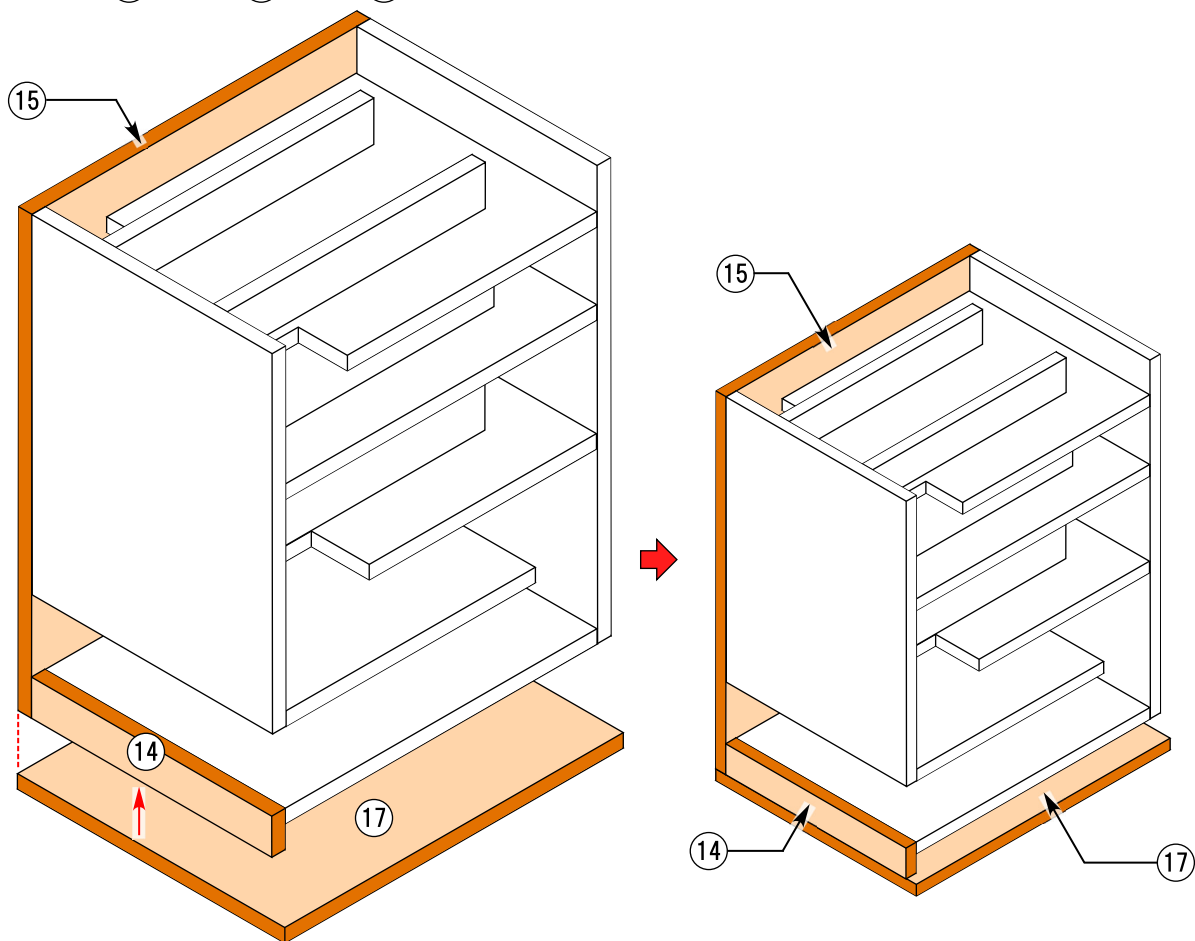


(2) 前板 ⑭ を側板 ⑮ に
底面と前面を合わせて接着します

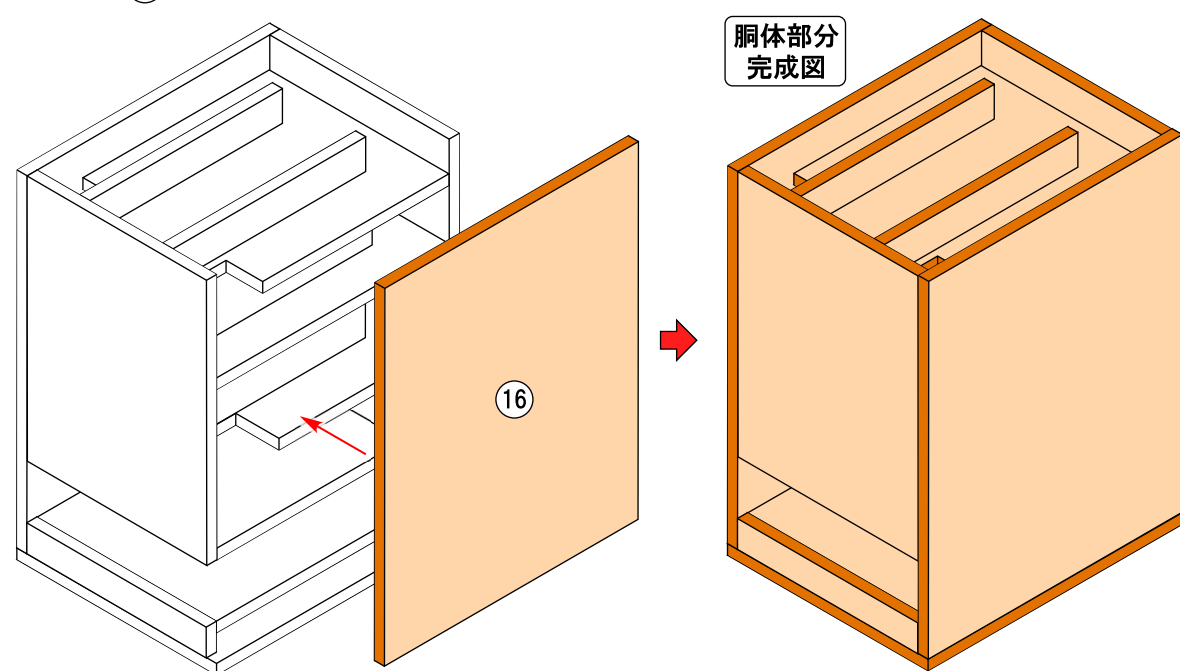
(3) 前板 ⑭ と背板 ⑫ を
つなぐように中板 ⑬ を
接着します



(9) 底板 (17) を側板 (15) と前板 (14) に接着します

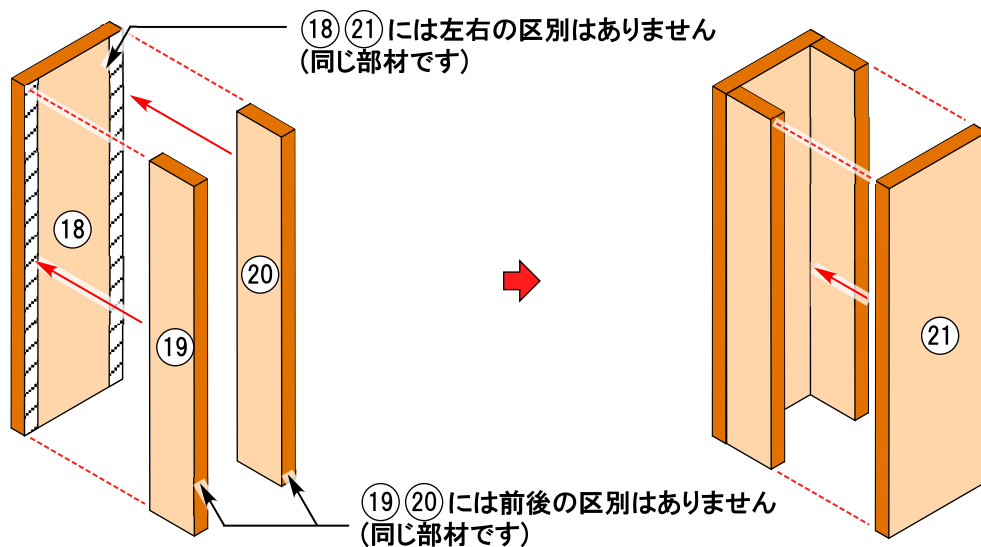


(10) 側板 (16) を接着して胴体部分を完成させます

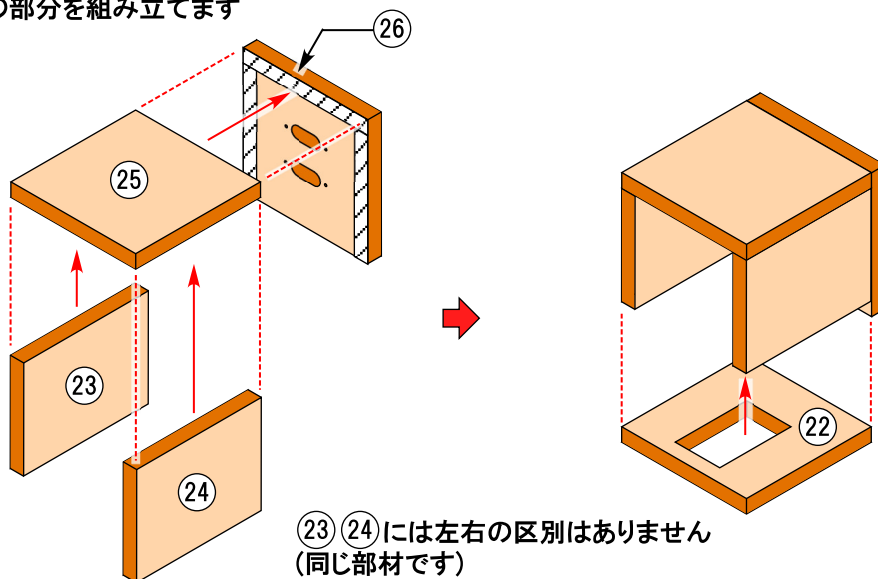


2. 首と頭の部分の組み立て

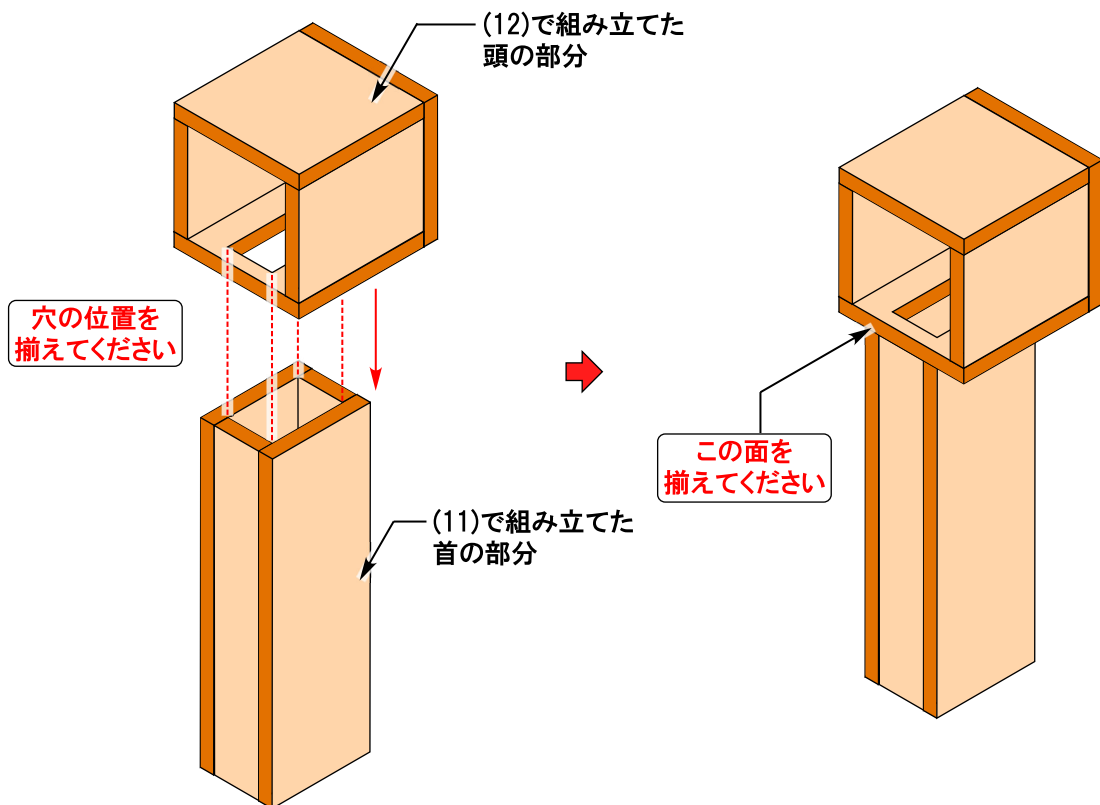
(11) 首の部分の音道を組み立てます



(12) 頭の部分を組み立てます

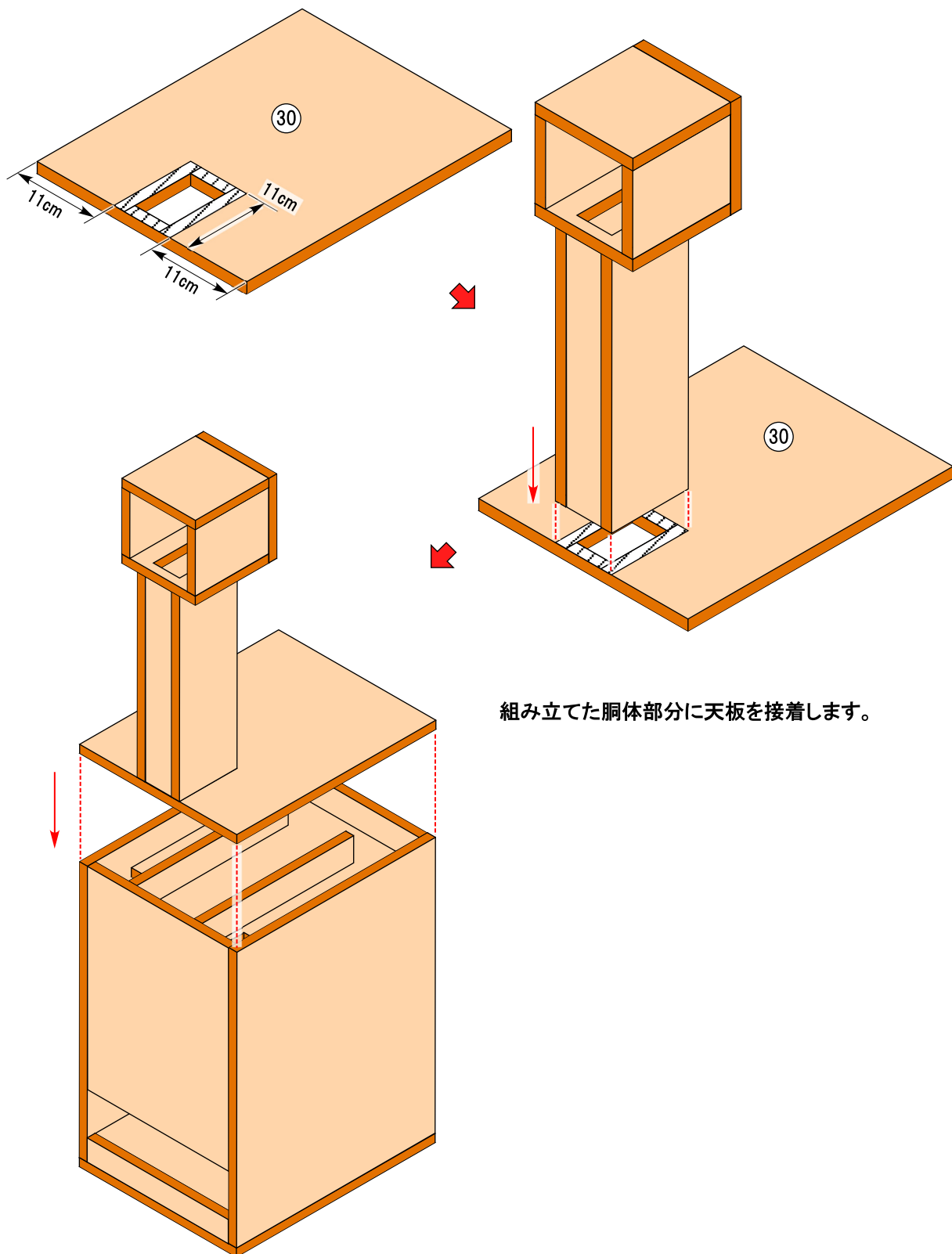


(13) (11)で組み立てた首の部分と(12)で組み立てた頭の部分を接着します



(14) 首と胴体を結合します

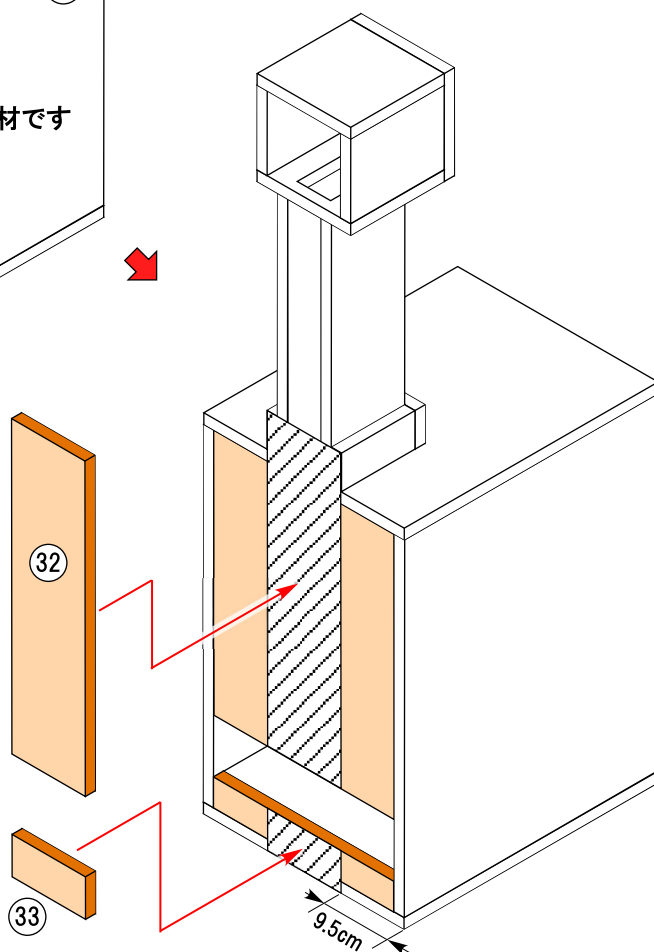
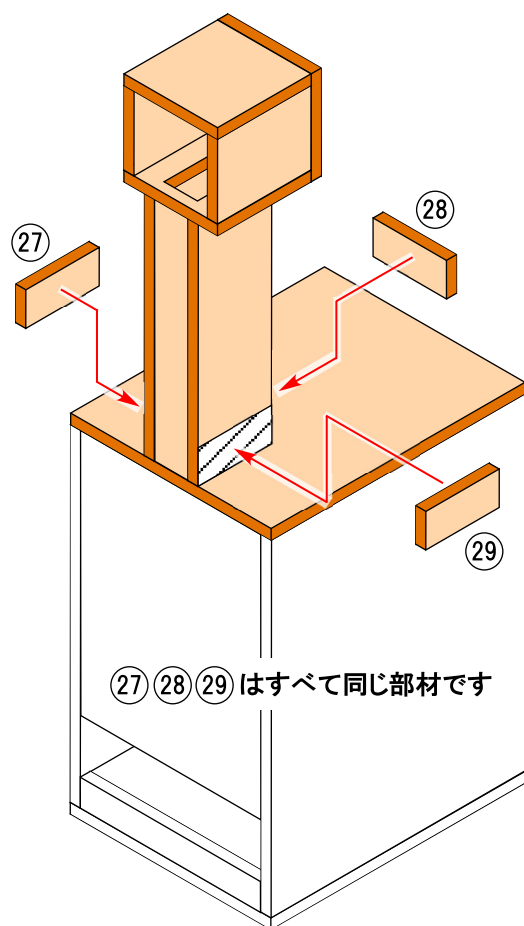
天板 ③① の下図ハッチング  部分に首を接着します。
位置の目安として、下図の位置に印をつけておきます。



組み立てた胴体部分に天板を接着します。

3. 補強板の取り付けと仕上げ

(15) 補強板を接着します



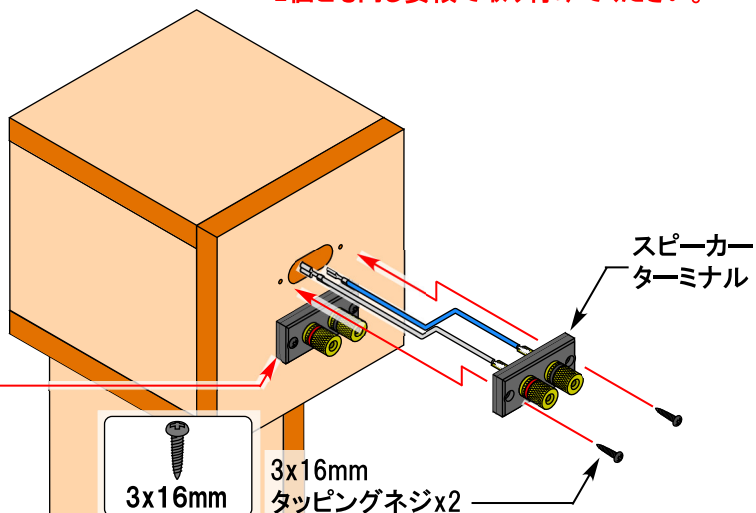
(16) スピーカーターミナルを取り付けます。

スピーカーターミナルは2個入っています。
2個とも同じ要領で取り付けてください。

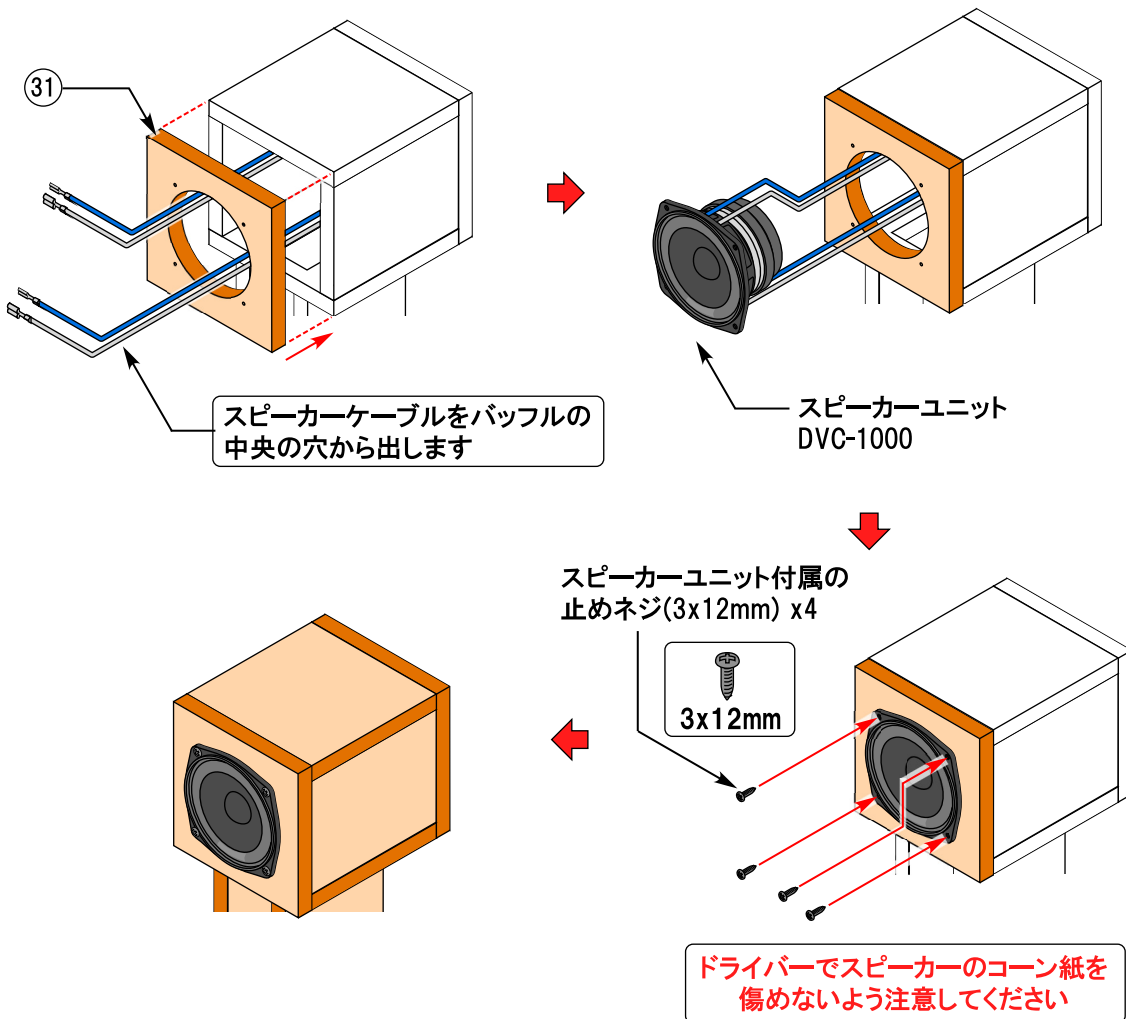
背面から見た図

ターミナルの取り付け向き

ターミナルの赤い端子が後ろから
見て左側に来るようにします



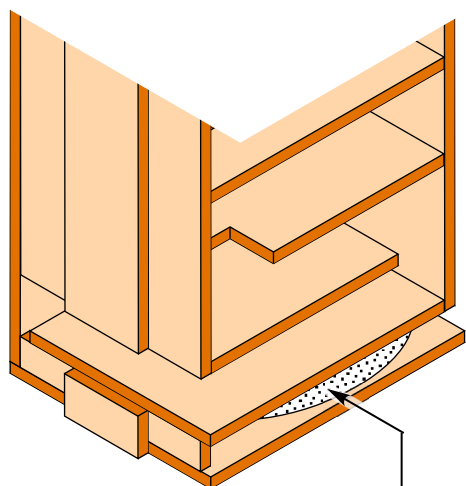
(17) スピーカーバツフルを接着し、スピーカーユニットを取り付けます



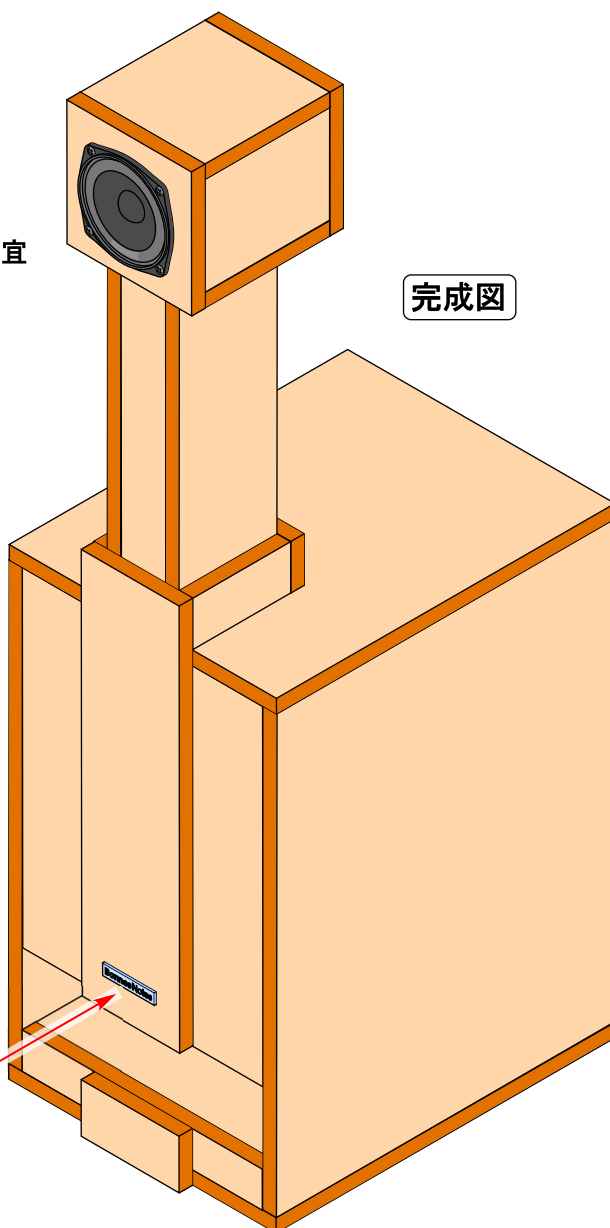
(18) 後ろ開口部から、砂袋を入れます

※中身を見せるため、側板を外した状態で描いてあります。

- ◎ 胴体部分背面の開口部から、砂袋を入れます。板の鳴きを抑え音の品位を上げるのに有効です。
- ◎ 砂の分量はお好みで加減してください。

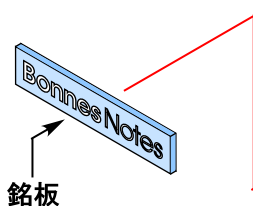


砂袋(600g入り)
※分量はお好みで適宜
加減してください。



完成図

(19) 銘板をお好みの場所に貼ります



銘板